

生きものと出会えるフィールド紹介

15種以外の生きもの報告が今年も1187件ありましたが、その多くは緑地での報告です。区内には、生きものが多く生息するフィールドが点在しています。「きぬたまあそび村」もそのひとつです。



多摩川河川敷にある世田谷区の自然体験遊び場です。野遊びのできる広々とした原っぱにはプレーワーカーが常駐し、子どもたちの居場所になっています。

所在地：多摩川河川敷二子玉川緑地運動場隣
開園日：毎週水金土および隔週日曜日
休園日：年末年始、夏期は出張川あそび

きぬたまあそび村

水辺ガサガサ

タモ網でのガサガサとシュノーケリングでは川の生きものと出会う。
モクスガニ

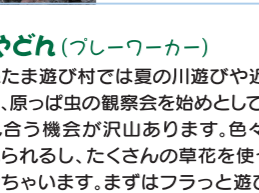


木片を糸に付けてバッタのすぐ横に垂らすと、メスと間違えて乗ってくるよ。
イナゴ



原っぱガサガサ

生きもの博士と探検してタヌキのためフンに集まる虫たちを発見。
ウラナミシジミ



バードウォッチング

ツリーハウスのあるエノキで実を食べ、枝をはやにえに利用する。
モズ



トンボ池ビオトープ

井戸水を溜めた手作りのビオトープ池ではトンボの羽化が見られる。
ギンヤンマ



はやどん(プレーワーカー)

きぬたま遊び村では夏の川遊びや近隣の小学校の校外学習、原っぱの観察会を始めとして、色々な生きものと触れ合う機会が沢山あります。色々な種類の野鳥だって見られるし、たくさんの草花を使って草木染めだってできちゃいます。まずはフラッと遊びにきてね!



その他の生きものピックアップ紹介

- 外来種を知ろう -



アカボシゴマダラ

今年全体で422種もの生きものが報告されています。この中に外来種の報告もありました。外来種という悪いイメージがありますが、そもそも人に連れてこられた生きものたちです。よく見かけるアカボシゴマダラやワカケホンセイインコに加え、世田谷区でほとんど記録のない昆虫類のクズクビソハムシやヘリチャハゴロモなどが報告されていました。また植物のコカラスムギなど、じっくり観察しないと区別できない種類も含まれています。世田谷の生きもの、緑地のことを考えるとき、この外来種はとて気になるからこそ報告して頂いたのかと思います。外来種のことを知ることははじめ、新しい対策や付き合い方のヒントを探していきましょう。

報告してくれたみなさんからのアンケート

えいと

- 1 オオカマキリ、ルリボシカミキリ、タマムシ
- 2 ともだちが「まち生きものしらべ」がだいすきだったので、はじめてみました。
- 3 ギンヤンマとはぶのがはやくて、つかまえるのがたいへんだった。
- 4 マイコアカネのめはエメラルドグリーンできれいだった。



げんげん

- 1 ハナカマキリ、モリアオガエル、ヒバカリ、ヤゴ
- 2 生きものが大好きだからです。
- 3 モリアオガエルちゃんをなつかせることが苦労した。(モリアオガエルちゃんは、山梨県で見つけました。)そのほかにも、カマキリが2回、卵をうんだのが印象に残りました。
- 4 野川で、ナマズの幼魚がいたことにびっくりした。



643(虫さん)

- 1 土の虫たち：カタツムリ、ミミズ、ムカデ... 環境循環の援助者だから
- 2 等々力渓谷近くに住んでいた子どもの頃はヤマトタマムシや庭に迷い込んだホタルと遊んでいました。区内で帰化種に出会うにつれ、植物を含む環境変化が知りたくて生きものをチェックしています。
- 3 家の周辺は昔牧場で牛や馬が食べ残したジャコウアゲハの食草の幼虫が多かったそうです。ジャコウアゲハの♂も♀もいるので幼虫の食草生育地があるはずですが発見できていません。来年に期待です。
- 4 6月からの異常な暑さで食樹のミカンの木の葉が枯れ幼虫たちが全滅しました。アブや蜂の仲間を見る機会も少なかったです。生きものだけでなく植物季節にもずれを感じました。



チームほのまり

- 1 ヒキガエル、ヤモリ、トカゲ、ジョウビタキ
- 2 昔すぎて忘れてましたが、タイトルが良かったのでは？20年以上前に環境課の連続講座でカントウタンポポの観察をしたり、佐々木洋さんの話を聞いた影響があるかもです。
- 3 忙しくて庭がワイルドすぎた時、見たことがない蝶や蛾を見つけたこと。ヒキガエルが卵からオタマジャクシになり、上陸の瞬間に立会えた。卵の引取り先がなく苦労した。
- 4 年々生態系が変わっているようで、カタツムリやカブトムシを見なくなった。現在クマゼミは鳴かないし、コウモリもヒグラシもいない状態。蛙の毒が蛇の毒と知り、ショック。



しー

- 1 けやきひろばの二ワトリ(チャボ)
- 2 学校でくばられて、母がおもしろそうだねと言っていたからです。
- 3 トンボの写真を撮るのにくろうしました。
- 4 しらない生きもの名前があるのに気がきました。



2022年まちの生きものしらべまとめ

コメントやアンケートからみなさんが「生きものしらべ」をす〜く楽しんでいる様子が目に浮びます。えさをとるところ、産卵、そして生まれてからの成長を観察し続けたり。観察内容はとても豊かで、ワクワクがあふれていました。きっと報告した後でも、観察を続けているのかなと思います。ぜひ、続けてください。また来年もよろしく。



生きものアドバイザー 伊藤さん

まちの 2022 生きものしらべ



人も生きものも住みやすい世田谷にするためにはどうしたらいいのか。みなさんといっしょに考えるきっかけとして、どんな生きものがどのような場所にどれくらいいるのか、子どもから大人までが参加して調査を行っています。みなさんから寄せられた今年の報告をまとめました。

2位 ヤモリ (70件)

1位 アゲハチョウ類 (174件)

3位 カマキリ類 (45件)

4位 ヒキガエル (21件)

5位 カナヘビ&トカゲ (18件)

6位 カタツムリ類 (14件)

7位 オナガ (12件)

8位 ツバメの巣 (10件)

9位 カブトムシ&クワガタ類 (7件)

10位 クマゼミ (6件)

11位 ヒグラシ (5件)

12位 ヘビ類 (4件)

13位 タヌキ (2件)

13位 コウモリ (2件)

15位 ハクビシン (1件)

報告件数 ランキング

総数 1578件

※調査対象外の報告も含む

生きものしらべ調査結果

音声コード

事務局から

今年もたくさんの報告をありがとうございました。私たちの生活は、たくさんの生きもののおかげによって支えられています。生きものを守るためにも、身のまわりに目を向け、生きものすみかとなるみどりを大切にしていきたいと思います。

発行：世田谷区みどり33推進担当部みどり政策課
〒158-0094 世田谷区玉川1-20-1 電話：03-6432-7905
発行日：2023年3月

世田谷区のHPでも紹介しています。
世田谷区 まちの生きものしらべ で検索